

第2編 ひたちなか市の災害対応



市災害対策本部会議の様子

地震直後の市の初動対応

3月11日 午後2時46分	地震発生（市内全域で停電、断水、一般電話・携帯電話が不通） J-ALERTによる防災行政無線放送（震度速報） 災害対策本部設置（本部設置基準により自動設置）
午後2時49分	J-ALERTによる防災行政無線放送（津波警報発表）
午後3時	ひたちなか市災害対策本部会議を開催 避難指示の発令、市内全ての指定避難所の開設を決定 ※避難所毎に2名から3名の職員を配置 ※避難所への備蓄物資の配送指示
午後3時08分	防災行政無線放送（避難指示の発令）
午後3時10分	消防本部および消防団による沿岸広報
午後3時14分	J-ALERTによる防災行政無線放送（大津波警報発表） ※以降、避難指示、大津波警報発表の放送を繰り返し実施。
午後4時08分	東消防署員により新川水門、栄町水門閉鎖

○地震発生直後の市の対応

市は地震直後、直ちに、災害対策本部を設置し、沿岸部に避難指示を発令しました。同時に市内全ての指定避難所の開設を決定して、職員や資機材を配備するなどの対応にあたりました。

また、津波警報発表に伴い、J-ALERT（ジェイアラート）（全国瞬時警報システム）が起動し防災行政無線による津波警報発表の自動放送を実施しました。そのほか、市職員も避難指示をはじめとする災害情報を防災行政無線により伝達しました。

市職員の災害対応従事人数

	期間	従事職員数	主に従事した担当職員
災害対策本部運営	※1 発災日以降	35人/日	災害対策本部長、本部付職員、生活安全課
指定避難所運営	27日間	延べ 1,866人	全庁体制により職員を派遣
備蓄・救援物資搬送	27日間	延べ 1,107人	農政課、商工振興課、観光振興課
応急給水活動	16日間	延べ 426人	水道事業所等
上水道復旧作業	17日間	延べ 235人	水道事業所等
被災現場応急対応	1週間応急対応	延べ 1,204人	建設部、都市整備部
被災建築物応急危険度判定	19日間	延べ 190人	建設部、都市整備部
仮置場での災害ごみ受入れ	11日間	延べ 168人	廃棄物対策課、環境保全課
乳児ミルク用ペットボトル水配布	11日間	延べ 66人	福祉部
津波浸水地域の消毒作業	15日間	延べ 60人	福祉部
市民からの電話対応	1ヶ月間	延べ 420人	管財課、市民活動課、女性生活課、生活安全課
災害ボランティア受付等対応	2ヶ月間	延べ 126人	市民活動課
家屋損壊調査	1年10ヶ月間	延べ 1,290人	資産税課、全庁体制により職員を派遣
り災証明書発行	※2の期間	延べ 516人	市民課、市民生活部等
被災証明書発行	※3の期間	延べ 132人	市民課、市民生活部等

※1 災害対策本部会議は、平成25年2月末現在においても継続中。

※2 平成23年3月22日から5月13日までの43日間。り災証明書発行業務は、平成25年2月末現在においても継続中。

※3 平成23年6月16日から7月1日の14日間。被災証明書発行業務は、平成25年2月末現在においても継続中。

○避難所の状況

市は、市内の小・中学校や公民館等の64カ所の公共施設を避難所として位置付けていましたが、天井や照明器具等の落下、壁面の亀裂、窓ガラスの破損等により、開設できない避難所もありました。

このような中、各地域の自治会では、14カ所の集会所を避難所として開放し、避難者を受け入れました。3月12日午前2時には68カ所の施設で最大避難者9,539人を収容しました。

避難者の中には、家が全壊し自宅での生活ができなくなった方もいたため、避難所の開設期間が長期化するこが見込まれました。このため、市は、避難者へ市営住宅等の入居あつ旋をして、順次避難所の統合を行い、4月6日には全ての避難所を閉鎖しました。



避難所の様子

避難所および避難者数の推移

平成23年	避難所数	避難者数
3月11日(金)	68	9,326
3月12日(土)	68	9,539
3月13日(日)	60	7,088
3月14日(月)	24	1,292
3月15日(火)	19	828
3月16日(水)	16	714
3月17日(木)	14	556
3月18日(金)	13	232
3月19日(土)	12	232
3月20日(日)	4	135
3月21日(月)	4	114
3月22日(火)	4	102
3月23日(水)	4	104
3月24日(木)	4	100
3月25日(金)	4	99
3月26日(土)	4	92
3月27日(日)	4	84
3月28日(月)	4	77
3月29日(火)	4	70
3月30日(水)	2	59
3月31日(木)	2	44
4月1日(金)	2	40
4月2日(土)	2	40
4月3日(日)	1	25
4月4日(月)	1	20
4月5日(火)	1	6
4月6日(水)	0	0

※各日の最大避難者数を掲載

避難所の開設

平成23年 3月11日～4月6日	避難所開設 指定避難所54施設、集会所等14施設、計68施設 最大避難者数 3月12日午前2時 9,539人
---------------------	---



避難所の様子（那珂湊二小体育館）



避難所の様子（大島コミュニティセンター）

3月11日以降の対応

平成23年3月11日	避難指示、指定避難所開設、備蓄物資の避難所への搬送、災害時応援協定事業者から食料調達
3月12日～27日	応急給水活動の実施 (市内9中学校ほか)
3月12日～23日	市内病院への水の搬送
3月12日～17日	災害派遣医療チームDMAT活動 (日本赤十字社からの派遣により、避難所で応急処置等を実施) 山梨県チーム、鳥取県チーム
3月12日～	津波ごみ、砂等の撤去作業実施 (ひたちなか市建設業協同組合の協力)
3月12日～	仮設トイレを一部の避難所や小学校に設置
3月13日	東北地方太平洋沖地震に係る災害救助法の適用
3月13日～4月1日	被災建築物応急危険度判定・被災宅地危険度判定の実施
3月15日～5月24日	災害ボランティアの活動 (延べ794人が活動)
3月15日～25日	自衛隊等による炊き出し(夕食) ※3月26日以降は、ひたちなか市社会福祉協議会が対応
3月16日	「被災者生活再建支援法の適用」について、茨城県知事より公文書により通知 (支援法適用日は、平成23年3月11日)
3月16日～23日	災害時要援護者に非常用給水パックまたはペットボトル水の配布 (自治会、民生委員・児童委員等の協力)
3月16日～4月6日	避難所(9施設)に臨時電話設置
3月16日～4月21日	倒れかけている塀の撤去(ひたちなか市造園事業協同組合、ひたちなか造園業協会の協力)
3月17日～3月23日	休日夜間診療所の臨時開設(ひたちなか市医師会の協力)
3月17日～27日	乳児ミルク用ペットボトル水の配布
3月17日～27日	災害ごみの受入れ(ひたちなか市建設業協同組合の協力) (津田運動ひろば、後野運動ひろば、佐野運動ひろば、那珂湊清掃センター、資源リサイクルセンター) ※4月1日から4月30日までは、資源リサイクルセンターのみで対応
3月17日～9月30日	義援金受付
3月22日～	り災証明書発行
3月22日～4月5日	本庁および那珂湊支所に災害相談窓口設置 ※4月6日以降は、各所管課対応
3月22日	市内全ての小・中学校が学校再開 (磯崎小学校は旧那珂湊第二高等学校校舎を使用)
3月23日～	家屋損壊調査実施
3月23日～4月6日	津波浸水地域の消毒作業実施 (海門町1丁目、2丁目、湊本町、東本町、和田町1～3丁目、平磯町)
3月24日～4月1日	家屋全壊等の被災者向けに市営住宅、民間アパートの入居受付
3月24日	市内全域上水道復旧
3月25日	水道水からの放射性物質検出に備えペットボトル飲料水18,000リットルを確保

○備蓄物資の避難所への 配送

市は、市内8カ所に備蓄していた非常食や飲料水、毛布を各避難所に配送しました。

しかし、全避難所を開設し、避難者が9,500人を超える事態となったことから備蓄物資が不足し、震災当日、備蓄物資の配給が十分に行えませんでした。

(発災当時搬送した備蓄品)

アルファーム …… 24,000食
飲料水 …… 4,500リットル
毛布 …… 2,200枚
便袋 …… 3,300枚



備蓄物資の搬入

食料や資機材を提供していただいた県内自治体

茨城県、水戸市、土浦市、守谷市、河内町、阿見町、利根町

食料や資機材を提供していただいた県外自治体

(栃木県) 那須塩原市、佐野市、鹿沼市、真岡市
(群馬県) 高崎市、沼田市、渋川市、伊勢崎市、藤岡市
(埼玉県) 熊谷市
(千葉県) 市川市
(神奈川県) 茅ヶ崎市、横浜市
(静岡県) 富士市、静岡市
(山梨県) 甲府市
(新潟県) 見附市、長岡市、柏崎市、湯沢町



支援物資の搬入

○自治体、災害時 応援協定締結事業 者等からの食料・ 資機材の提供

震災当時は、姉妹都市（那須塩原市）および災害時相互応援協定締結都市（千葉県市川市、神奈川県茅ヶ崎市、静岡県富士市）をはじめとする県内外の自治体、また、災害時応援協定を締結している民間事業者から、食料や飲料水、生活用品等の物資、給水車等の資機材の提供を受けました。

支援物資は、物資搬送拠点の市役所現業棟駐車場に搬入された後、避難所に配送しました。

○避難者の食料の 確保

震災当時、食料が不足したことから、市は、災害時応援協定を締結している市内の9つのスーパー等に食料の提供を要請しました。おにぎりや菓子パン等の食料を調達するとともに、茨城県等に対し物資の提供を要請、ま

た、市内の自治会に対し防災行政無線を通して備蓄食料の提供をお願いするなど、避難者の食料の確保に努めました。このような中、市内外の事業者や個人から避難者に対し、ほしいもや果物、菓子等の提供がありました。

また、市は、避難所開設の長期化が予想されたことから、炊き出しに必要な米などを調達しました。震災後の3月15日から25日まで、陸上自衛隊をはじめ災害ボランティアの協力を得て、炊き出しを行い、避難者に配給しました。



自衛隊による炊き出し

○ 応急給水活動

市内全域が断水したことに伴い、市は、平成23年3月12日から27日まで、市内9つの中学校等を給水拠点として、応急給水活動を実施しました。

応急給水活動には、水道事業所の給水車のほか、茨城県や県内外の市町の給水車を借用し、陸上自衛隊や災害ボランティア等の協力を得て、各給水拠



応急給水活動（佐野中学校）

点での応急給水活動や給水パックづくりを行いました。

○ 乳児ミルク用 ペットボトル水の配布

断水が長期間におよび断水解消後も赤水が発生しました。市は、その対策として平成23年3月17日から27日まで、生涯保健センター（ヘルスケア・セン

ター）および那珂湊保健相談センターで、1歳6ヶ月未満の乳児を対象として、1人あたり6リットルのペットボトル水を配布しました。

配布実績 …… 延べ5、393人
生涯保健センター ……

延べ4、564人

那珂湊保健相談センター ……

延べ829人

○ 医療機関への給水対応

断水のため、市内の災害時拠点病院や人工透析施設では、医療用の水が不足しました。市は、14の医療機関に水槽付消防ポンプ自動車や民間事業所から提供いただいた給水車で、平成23年3月12日から3月23日までに、254回にわたり、約685トンを給水しました。

○ 水道料金減免等の対応

断水から市内全域への通水完了までに約2週間を要したことから、市は、水道料金の1ヶ月分の基本料金の減免を実施しました。また、通水後、各地区において濁り水や赤水等が発生したため、使用水量から2.0m³相当分の使用料の減免を実施しました。さらに、宅内給水管等の漏水修繕をした方に対し、修繕費用の一部を補助しました。

・水道料金の1ヶ月分の基本料金の

減免 …… 実施件数 61、542件

・使用水量から2.0m³相当の使用料の

減免 …… 実施件数 36、406件

・宅内給水管等の漏水修繕費用の

補助 …… 実施件数 1、075件



宅地内の漏水

水道の復旧および給水活動状況

月 日	復旧状況	給水車による給水活動内容
3月11日	全施設運転停止。応急給水用の水を確保するため、全配水場からの配水を停止	
3月12日	上坪浄水場復電。市毛配水場復電 仮設電源により一部井戸から取水	市内の9中学校を拠点として応急給水開始
3月13日	馬渡配水場復電。仮設電源により一部井戸から取水 上ヶ砂配水場復電	市内の9中学校を拠点として応急給水
3月14日	十三奉行配水場復電。阿字ヶ浦配水場復電 取水口から上坪浄水場への導水管漏水調査	市内の9中学校を拠点として応急給水
3月15日	十三奉行配水場自然流下による試験通水開始 幸町、相金町、八幡町、洞下町の通水を確認	市内の9中学校を拠点として応急給水 勝田一中、佐野中、那珂湊中で応急給水時間を21時まで延長
3月16日	阿字ヶ浦配水場配水運転再開 阿字ヶ浦町、和田町、海門町、湊本町、栄町、田中後、柳が丘（一部）の通水を確認	市内の9中学校を拠点として応急給水 勝田二中、田彦中、大島中で応急給水時間を21時まで延長
3月17日	馬渡配水場および上ヶ砂配水場泉水受水開始 磯崎町、湊泉町、東本町の通水を確認	市内の9中学校を拠点として応急給水 勝田三中、佐野中、那珂湊中で応急給水時間を21時まで延長
3月18日	馬渡配水場および上ヶ砂配水場自然流下による試験通水開始 田宮原、南神敷台で通水を確認	市内の9中学校を拠点として応急給水 勝田一中、田彦中、大島中で応急給水時間を21時まで延長
3月19日	馬渡配水場配水運転再開 本郷台団地、東中根団地、富士山団地、松戸町、長堀町、笹野町、三反田、勝倉、枝川、東石川、石川町、表町、勝田泉町、勝田中央、平磯町、平磯遠原町の通水を確認	市内の9中学校を拠点として応急給水
3月20日	馬渡、向野団地、中根、武田、大平、堀口、枝川の通水を確認	市内の9中学校を拠点として応急給水 枝川転作推進センター、佐野図書館、津田公民館、三反田集会所を拠点として応急給水
3月21日	上坪浄水場着水井および高速沈澱池復旧。那珂川取水再開。上坪浄水場運転再開。市毛配水場配水運転再開。十三奉行配水場配水運転再開。上ヶ砂配水場配水運転再開。北神敷台、西赤坂、西十三奉行、烏ヶ台、部田野、牛久保、殿山町、富士ノ上の通水を確認	市内の9中学校を拠点として応急給水 那珂湊中、枝川転作推進センター、三反田集会所で非常用給水パックによる応急給水
3月22日	上坪浄水場配水運転再開 足崎、西原、はしかべ、田彦、市毛、津田、さわ野杜、常葉台、柳が丘（全域）の通水を確認	勝田地区の6中学校を拠点として応急給水 第1ルート（常葉台ふれあいセンター、さわ野杜ふれあいセンター、柏野団地集会所）第2ルート（上高場公園、田彦公民館）で時間給水 上ヶ砂配水場、海門町集会場を拠点として応急給水
3月23日	長砂、高野、佐和、稲田の通水を確認 勝田地区は常陸那珂港区内を除いて通水完了 配水圧力増加に伴い赤水が増加	勝田地区の6中学校を拠点として応急給水 第1・第2ルートで時間給水 枝川転作推進センターから撤収
3月24日	海門町が復旧し市内全域で通水完了	4中学校（勝田一中、勝田三中、田彦中、大島中）を拠点として応急給水（4中学校以外は非常用給水パックによる応急給水対応） 第1ルート（佐野中、佐野図書館）第2ルート（上高場公園、さわ野杜ふれあいセンター）で時間給水
3月25日	配水圧力増加に伴う赤水対応のため管洗浄作業および給水管等の漏水対応を継続	第1・第2ルートと自衛隊3隊による応急給水
3月26日	配水圧力増加に伴う赤水対応のため管洗浄作業および給水管等の漏水対応を継続	第1ルート（佐野中、佐野図書館）第2ルート（上高場公園、勝田二中）と自衛隊3隊による応急給水
3月27日	配水圧力増加に伴う赤水対応のため管洗浄作業および給水管等の漏水対応を継続	第1・第2ルートと自衛隊3隊による応急給水 応急給水活動終了
3月28日	配水圧力増加に伴う赤水対応のため管洗浄作業および給水管等の漏水対応を継続	



津波漂流ごみの回収・撤去（東本町地内）



津波漂流ごみの散乱（湊本町地内）



津波漂流ごみの回収・撤去（湊本町地内）



津波による浸水（海門町2丁目地内）

○津波漂流ごみの回収・撤去

沿岸地域には、津波が押し寄せ、住宅、店舗が床上・床下浸水する被害が生じました。また、家屋や水産物量販店の物品、車両等が津波によって流れ、沿岸地域は津波漂流ごみが散乱した状態となりました。

このため、地域の方々やひたちなか市建設業協同組合の協力を得て、津波漂流ごみの回収・撤去を行いました。



災害ごみ回収場所（後野運動ひろば駐車場）



搬入されたがれき



二次災害を防ぐため危険の張り紙がされた塀

○仮置場での災害ごみの回収・処理

市は、震災で破損しごみとなった瓦やブロック、ガラス、家具などの回収・処分のため、平成23年3月17日から27日まで、「津田運動ひろば」「佐野運動ひろば」「後野運動ひろば」「那珂湊清掃センター」の4カ所に災害ごみ受入れ所（仮置場）を設置しました。

回収した災害ごみは、総計25,353トンに及び、可燃物・不燃物・資源物に分別し処理をしました。

○倒れかけている塀の撤去

余震によるブロック塀等の倒壊による二次災害を防止するため、ひたちなか市造園事業協同組合とひたちなか市造園業協会の協力を得て、平成23年3月16日から4月20日まで、道路に面し設置されたブロック塀等で、倒れかけているものを対象として撤去しました。

撤去したブロック塀等の件数は、285件となりました。

○休日夜間診療所の臨時開設

市民のけがや病気に対応するため、通常は休日
夜間のみ開設する休日夜間診療所を、ひたちなか
市医師会の協力を得て平日および休日の日中にも
開設しました。平成23年3月12日から23日（3月
14日から16日は未開設）までの間で504人が受
診しました。

休日夜間診療所の受診件数

（単位：人）

平成23年	外科	内科	小児科	計
3月12日（土）	（夜2）	（夜0）	（夜4）	（夜6）
3月13日（日）	15（夜5）	21（夜9）	55（夜25）	91（夜39）
3月17日（木）	3	11	7	21
3月18日（金）	4	10	8	22
3月19日（土）	3（夜5）	7（夜13）	1（夜10）	11（夜28）
3月20日（日）	15（夜4）	55（夜14）	39（夜23）	109（夜41）
3月21日（月）	13（夜6）	37（夜12）	34（夜20）	84（夜38）
3月22日（火）	3	3	3	9
3月23日（水）	0	3	2	5
合計	56（夜22）	147（夜48）	149（夜82）	352（夜152）

※3月14日～16日は、未開設

○災害派遣医療チームDMAT 活動

平成23年3月12日から17日まで、日本赤十字社
から派遣された山梨県および鳥取県の災害派遣医
療チームスタッフが、避難所だけが人や病人への
応急処置活動を行いました。



災害派遣医療チームDMAT

○トイレ対策

断水のため、水洗トイレが使用できませんでし
た。当時、仮設トイレの確保は、非常に難しい状
況にありましたが、市は、平成23年3月12日に47
基を確保（その後、22基を追加）し、避難所とし
て開設した一部の小・中学校や公民館、市役所な
どの25施設に配置しました。

また、便袋については、震災直後、避難所に配
布しましたが、さらに3月15日に他市町村からの
救援を受けて、通水が遅れている勝田地区の指定
避難所および自治会集会所に簡易トイレおよび便
袋を配布しました。



仮設トイレの設置（市役所）

簡易トイレおよび便袋の配布

【配布先】

勝田地区の指定避難所……………44施設
勝田地区の自治会集会所……………42施設

【配布数】

簡易トイレ……………500個
便袋……………24,300枚

火災・救急状況件数

(単位：件、人)

平成23年	火災 件数	救助 件数	出動 件数	搬送 人員	搬送内訳						
					火災	自然 災害	一般 負傷	急病	交通	転院 搬送	その他
3月11日(金)	1		41	32		14	2	13	1		2
3月12日(土)	1	1	48	38	1	4	3	26	3	1	
3月13日(日)	3		39	34	1		6	24	2		1
3月14日(月)	1		40	33			5	24	4		
3月15日(火)			30	26		2	6	15	2		1
3月16日(水)			23	21				17	1	2	1
3月17日(木)		1	21	19				13	5	1	
合計	6	2	242	203	2	20	22	132	18	4	5

避難所からの救急搬送

平成23年	搬送人員
3月11日(金)	2人
3月12日(土)	15人
3月13日(日)	6人
3月14日(月)	2人
3月15日(火)	3人
3月16日(水)	1人
3月17日(木)	0人



消防本部通信指令室

平成23年3月11日から3月17日までの救急搬送件数

(単位：人)

搬送先の病院	搬送人員	搬送先の病院	搬送人員
日立製作所ひたちなか総合病院	128	四方医院	1
浦川会勝田病院	13	ひたちなか母と子の病院	1
水戸赤十字病院	11	栗田病院	1
尚仁会クリニック	6	斉藤病院	1
水戸医療センター	5	湯原病院	1
斉藤内科	5	青木病院	1
水戸済生会総合病院	4	茨城県周産期センター	1
茨城県立こども病院	4	筑波メディカルセンター病院	1
恵愛小林クリニック	3	脳神経外科聖麗メモリアル病院	1
水戸ブレインハートセンター	3	大洗海岸病院	1
茨城東病院	3	茨城県立中央病院	1
アイピークリニック	2	東海村立東海病院	1
青柳病院	2	水戸中央病院	1
中山病院	1	搬送人員合計	203

○被災建築物応急危険度判定の実施

地震により、市内の建築物が被害を受けました。市は、平成23年3月13日から4月1日まで、学校等の公共施設、住宅等の民間建築物の応急危険度判定を実施しました。判定件数1,206件。

○被災宅地危険度判定の実施

地震で宅地に亀裂や地盤沈下などが生じた宅地を対象に、二次災害を軽減・防止するため、被災宅地危険度判定を行いました。

判定件数……………80件
 危険……………21件
 注意……………33件
 異常無し……………26件

○被災者向け住宅の提供

地震や津波により家屋に被害を受け居住することが困難な被災者を対象として、平成23年3月24日から4月1日まで、仮設住宅として、市営住宅や民間住宅の入居のあつ旋を行い、市営住宅に6世帯、民間住宅に48世帯、計54世帯が入居しました。



被災した家屋



被災した家屋

被災建築物応急危険度判定の結果

構造	判定	木造			鉄骨造			鉄筋コンクリート造			合計			
		異常無	注意	危険	異常無	注意	危険	異常無	注意	危険	件数	異常無	注意	危険
公共施設	学校関係	6	3	0	14	14	11	45	31	11	135	65	48	22
	保育園	5	4	1	4	5	1	7	1	0	28	16	10	2
	公共施設	1	2	0	11	2	0	34	8	9	67	46	12	9
	合計	12	9	1	29	21	12	86	40	20	230	127	70	33
民間住宅		441	267	94	81	37	17	19	12	8	976	541	316	119
合計		453	276	95	110	58	29	105	52	28	1,206	668	386	152



1階の駐車場が圧壊した店舗



宅地内の亀裂



津波被害を受けた店舗（東本町地内）



津波により浸水した海門町地内



茨城県から福島県に派遣した緊急消防援助隊

津波浸水地域の消毒実施状況

地域名	消毒件数
海門町1丁目	96件
海門町2丁目	120件
湊本町	83件
東本町	20件
和田町1丁目	22件
和田町2丁目	13件
和田町3丁目	10件
平磯町	52件
合計	416件

3月23日から4月6日までの期間、消毒作

市は、浸水した地区を対象に、平成23年
床下浸水する被害が生じ、砂やゴミなどが
堆積しました。

○津波浸水地域の消毒作業

○消防職員の福島県への 活動支援派遣

業を実施しました。消毒件数416件。

市は、総務省消防庁長官の指示により「茨
城県緊急消防援助隊」として、平成23年3
月25日から4月10日までの期間、福島県の
災害救助や救急搬送などの任務に当たると
め、消防職員（第1〜4陣、計23人）を派
遣しました。
当時、福島県には、他県からも消防職員
が派遣され、連携のもと福島県の支援に当
たりました。



ひたちなか海浜鉄道湊線全線運転再開記念式典（那珂湊駅） 平成23年7月30日

○ひたちなか海浜鉄道 湊線の運転再開

ひたちなか海浜鉄道湊線は、大地震とその後の断続的な余震により、全線に甚大な被害を受け、運休を余儀なくされました。当時は、復旧のめども立たない状況であったことから、通勤・通学の交通手段を確保するため、3月19日から運行再開の前日までの期間、代行バスを運行しました。

市は、震災から1カ月後の4月14日の臨時市議会で、鉄道軌道整備法に基づく湊線支援の予算を可決し、「必ず復旧させる」という姿勢を明確にしました。その後、国や県に対して、補助率の引上げ等の要望をねばり強く行いました。最終的に、通常の災害復旧補助より高い補助率が設定された国の新災害復旧制度に基づく地方協調補助を含めた支援を行うとともに、当面の運営資金として無利

子の貸付を行いました。

ひたちなか海浜鉄道湊線の復旧工事は急ピッチで進められました。6月25日には、那珂湊・中根駅間で、7月3日には勝田・平磯駅間で運転が再開され、震災から134日目となる7月23日、全区間の運行が再開されました。7月30日には、1,300人もの方々が来場し、「全線復旧記念イベント」が那珂湊駅で盛大に開催されました。



ひたちなか海浜鉄道湊線代行バスの運行

○他自治体からの 人的支援

震災で市内の道路や下水道が甚大な被害を受けたことにより、その災害復旧に係る業務は膨大なものとなりました。

市は、道路・下水道の一日も早い復旧を図るため、職員の庁内流動体制をとるとともに、市の派遣要請に応じた県内外の5つの自治体から18名の職員の派遣を受けました。



災害復旧支援で派遣された自治体職員

本市の復旧のため派遣された方々

派遣元	氏名	派遣期間	市配属部署
栃木県那須塩原市 ※姉妹都市	田中和広さん 大武宗一さん 高野 茂さん 斉藤哲也さん 木村雅幸さん 大貫寿典さん 藤原広光さん 相馬福光さん	平成23年 6月 1日から 6月15日 6月 1日から 6月15日 および10月 1日から10月31日 6月16日から 6月30日 6月16日から 6月30日 および10月 1日から10月31日 9月 1日から 9月30日 9月 1日から 9月30日 11月 1日から11月30日 11月 1日から11月30日	建設部道路建設課
静岡県富士市 ※災害時相互応援協定締結都市	室伏正一さん 古郡 恒さん 平山智彦さん 土屋公則さん	平成23年 6月 1日から 6月30日 6月 1日から 6月30日 7月 1日から 7月31日 7月 1日から 7月31日	建設部道路建設課
茨城県古河市 ※災害時相互応援協定締結都市	服部真也さん 須見隆史さん 高橋文夫さん 鈴木佳文さん	平成23年 6月 1日から 7月 3日 7月 4日から 9月 4日 9月 5日から10月16日 10月17日から11月30日	建設部下水道課
神奈川県茅ヶ崎市 ※災害時相互応援協定締結都市	嶋津宗嘉さん	平成23年 6月 1日から11月30日	建設部下水道課
新潟県小千谷市 ※市が平成16年の中越地震で職員を災害派遣した自治体	小林 仁さん	平成23年 6月 1日から 平成24年 5月31日	建設部下水道課

主な施設の復旧状況

区分	主要施設	復旧時期
鉄道	ひたちなか海浜鉄道湊線（全区間）	平成23年7月
小学校	外野小学校（体育館）	平成24年7月
	津田小学校（体育館）	平成24年8月
	平磯小学校（プレハブ校舎の建設）	平成25年2月
	磯崎小学校（プレハブ校舎の建設）	平成25年1月
社会福祉施設	しあわせプラザ（ふれあい交流館）	平成23年11月
	老人福祉センター高場荘	平成24年10月
	老人福祉センター馬渡荘	平成25年3月
公園	東中根第1公園、後谷津緑地等 22施設	平成24年8月
	柳が丘第1児童公園、中根第7公園等 5施設	平成25年3月
水産関連施設	漁村センター	平成24年6月
	那珂湊漁港内公園	平成25年7月予定
	ふれあい釣り公園	平成27年3月予定
	那珂湊漁協施設、磯崎漁協施設、水産加工協施設	平成24年3月
文化施設	文化会館（ホール棟）	平成23年12月
	ワークプラザ勝田（全館）	平成23年7月
体育施設	市民球場	平成25年2月
	陸上競技場	平成25年3月
	那珂湊運動公園第一野球場	平成25年3月
	松戸体育館	平成23年10月
	那珂湊体育館	平成24年11月
勤労青少年ホーム	勝田勤労青少年ホーム	平成23年5月
	那珂湊勤労青少年ホーム（体育室以外）	平成23年7月
図書館	中央図書館	平成23年6月
公営企業	ホテルニュー白亜紀	平成23年6月



運転を再開したひたちなか海浜鉄道湊線



水道施設の復旧作業（上坪浄水場）

主な幹線道路の復旧状況

路線名	場所	被災延長	復旧時期
市道1-1号線 (昭和通り線)	馬渡地内	138.1m	平成24年8月
市道1-2号線 (東中根高場線)	高場地内	577.8m	平成24年11月
市道1-7号線 (勝田停車場佐和線)	西大島2丁目地内ほか5カ所	1,490.9m	平成25年3月
市道1-8号線 (西中根田彦線)	田彦地内ほか2カ所	1,314.5m	平成25年3月
市道1-10号線 (東中根向野線)	中根地内	131.8m	平成24年12月
市道1-14号線 (金上田彦線)	西大島2丁目地内ほか1カ所	263.0m	平成24年11月
市道1-15号線 (勝田停車場勝倉線)	武田地内ほか1カ所	582.5m	平成24年3月
市道湊1-1号線 (那珂湊海岸線)	和田町3丁目地内	324.0m	平成24年7月
市道湊1-2号線 (那珂湊環状線)	海門町1丁目地内ほか2カ所	1,098.7m	平成25年度内
市道湊1-6号線 (阿字ヶ浦海岸線)	阿字ヶ浦町地内	700.2m	平成25年3月
市道2-11号線 (田彦大島線)	田彦地内	562.0m	平成25年1月



東中根向野線の復旧工事（中根地内）



ひたちなか海浜鉄道湊線全線復旧記念イベント
(那珂湊駅 平成23年7月30日)

ひたちなか海浜鉄道湊線の復旧

東日本大震災災害復旧支援（湊鉄道線災害復旧事業費補助）

事業箇所	事業費
金上～中根間 溜池崩落復旧	132,860,000円
平磯～磯崎間 洞門トンネル再建	47,123,780円
(その他内訳)	
那珂湊～殿山間法面復旧	6,450,000円
平磯～磯崎間法面復旧	41,370,000円
日工前～阿字ヶ浦間各駅ホーム復旧	5,500,000円
勝田～阿字ヶ浦間軌道復旧	40,003,761円
踏切・トラフ復旧、レール研磨	11,632,250円
事業費合計	284,939,791円

(補助金額)

市105,007,269円 国114,793,485円 県65,139,036円



運転を再開したスマイルあおぞらバス

○コミュニティバス「スマイルあおぞらバス」の運行再開

コミュニティバス「スマイルあおぞらバス」は、地震発生直後、市内全域が停電となり信号機が機能しなかったことから、5つの全てのルートで運行を停止しました。

信号機能復旧後、道路の安全を確認し、順次運行を再開しました。

コミュニティバス「スマイルあおぞらバス」の運行再開

コース	通常運転開始までの運行状況	通常運行開始日
西コース	3月13日から15日は、津田循環運行 3月15日から筑波台アパート停留所を除き運行	3月24日(木)
北コース	3月14日は、勝田駅～佐和駅間運行	3月15日(火)
東コース	3月13日は、外野方面のみ運行 3月14日は、道路状況等により一部迂回運行	3月17日(木)
循環コース	3月14日は、勝田駅～足崎～ジョイフル本田間を往復運行 3月15、16日は、金上～勝田病院～柴田アパート～東中根団地～中根小方面迂回運行 3月17日から19日は、中丸川周辺迂回、ジョイフル本田（ファッションクルーズ駐車場閉鎖）駐車場を迂回運行	3月20日(日)
那珂湊コース	3月15日から22日までは、魚市場方面および小林クリニック～相金北間の一部を休止して運行 3月23日から27日までは、魚市場方面を除き運行	3月28日(月)

JR常磐線の運行状況

3月11日（金）	地震発生により運休（武田地内で線路敷の盛土変形、線路の湾曲）
3月18日（金）	土浦～上野駅間運転開始（40%の運行）特急運行なし
3月28日（月）	J R 運転計画（発表） ・土浦～勝田駅間3月31日始発より運転再開予定。当分の間普通列車のみ、通常の5割運行。 ・勝田～高萩駅間4月9日頃運転再開予定
3月31日（木）	土浦～勝田駅間運転再開（普通列車の運行）
4月1日（金）	J R 運転計画（発表） ・上野～勝田駅間、普通列車のみ。上野～土浦駅間は60%程度、土浦～勝田駅間は50%程度の運転本数で速度を落とし運行。特急列車は、当分の間、運転取りやめ。 ・勝田～高萩駅間、4月9日頃に運転再開の見込み。
4月4日（月）	J R 運転計画（発表） ・上野～勝田駅間4月7日から平常運行 ・勝田～高萩駅間4月7日運転再開 ・特急列車：上野～高萩駅間4月中旬一部運転再開予定
4月7日（木）	勝田～高萩駅間運転再開（普通列車の運行）

路線バスの運行状況

3月11日（金）	地震により運休
3月14日（月）	【運休路線】 大野・那珂湊・平磯線全線、那珂湊・三反田・勝田線全線、水戸・大洗・那珂湊線全線
3月15日（火）	【海浜公園方面】 1時間に1本運行 【勝田～水戸】 6割運行 【東海方面】 運休 【足崎東中根方面】 通常の半分運行 【那珂湊～大洗～水戸】 通常通り（時間遅れあり） ・高速バスと県庁シャトルバスを除く全路線バスで運賃上限200円に設定。（3/15～3/21）
3月16日（水）	常磐道三郷IC～水戸IC間通行開始、高速バス運行開始
3月17日（木）	路線バス土日ダイヤで運行
3月18日（金）	【水戸方面】 土日祝日ダイヤで運行 【那珂湊駅～平磯】 運休 【那珂湊駅～勝田駅】 通常ダイヤ運行
3月20日（日）	東水戸道路全線（ひたちなかIC～水戸南IC）午前11時に通行止め解除
3月21日（月）	常磐道水戸IC～いわき中央IC間開通（高速道路：当面50km/時の速度規制） 【高速バス】 勝田営業所～東京駅：直通便のみ運行、成田・羽田行き：運休
3月22日（火）	【水戸方面】 通常ダイヤ運行 【那珂湊営業所】 通常ダイヤ運行 【緊急支援バス】 水戸駅南口～日立駅中央口線、勝田駅西口～日立駅中央口線、水戸駅北口～勝田駅西口～佐和駅～東海駅西口～大甕駅線 運行開始
3月23日（水）	【水戸方面】 通常ダイヤ運行 【那珂湊営業所】 通常ダイヤ運行
3月24日（木）	【臨時便運行】 水戸駅～笠松運動公園、水戸駅～勝田駅、那珂湊駅～大洗～水戸駅～茨大前、那珂湊～平磯中下
3月25日（金）	J R 運休が続いている地域の学生の通学対策として、4月6日の始業式までにバス路線の開設・増強予定を発表 【常磐線】 水戸～日立・大甕、勝田～日立 【水戸線】 笠間市内 【水郡線】 常陸太田線を含む全線
4月6日（水）	運休・迂回路線を除き、全営業所で通常ダイヤ運行

災害義援金・寄付金等の支援

(平成25年2月15日現在)

項目	件数	金額	用途
義 援 金	496件	79,682,737円	災害義援金配分委員会において金額を決定し、被災者へ配分
寄 付 金	48件	14,548,729円	復旧・復興事業に充当
災害見舞金	27件	22,110,221円	復旧・復興事業に充当
災害支援金	7件	161,559,304円	復旧・復興事業に充当
復興支援金	2件	2,200,000円	復旧・復興事業に充当
合計	580件	280,100,991円	

○災害義援金・寄付金等の支援

市内外の皆様方から、東日本大震災に係る災害義援金や寄付金、見舞金をいただきました。



ボーイスカウトひたちなか第一団からの義援金の寄付

災害義援金の配分対象者

人的被害	平成23年3月11日に市内に居住していた方で、震災により亡くなった方	申請期限	平成24年3月31日まで
建物被害	市の発行するり災証明書において「半壊」以上の判定を受けた住家に平成23年3月11日に居住していた世帯主		

[1] 日本赤十字社・共同募金会による配分額

(単位：円)

被害程度	支給額 (1次配分)	支給額 (2次配分)	支給額 (2次配分の2)	支給額 (2次配分の3)	支給額 (2次配分の4)	支給額 (2次配分の5)	支給額 (2次配分の6)	支給額 (2次配分の7)	合計
死 亡	350,000	560,000	75,808	60,000	40,000	8,000	25,000	14,000	1,132,808
全 壊	350,000	560,000	75,808	60,000	40,000	8,000	25,000	14,000	1,132,808
大規模半壊・半壊	180,000	280,000	37,904	30,000	20,000	4,000	12,500	7,000	571,404

※平成24年11月28日現在

[2] 日本政府による配分額 (単位：円)

被害程度	支給額
死 亡	10,000
全 壊	10,000
大規模半壊・半壊	5,000

[3] 茨城県による配分額 (単位：円)

被害程度	支給額
死 亡	150,000
全 壊	150,000
大規模半壊・半壊	70,000

[4] ひたちなか市による配分額 (単位：円)

被害程度	支給額
死 亡	200,000
全 壊	150,000
大規模半壊・半壊	70,000